

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 056	提案機関名 小田原市
要望問題名 小田原漁港西側地区の水域環境調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 現在、県、市で進めている特定漁港漁場整備事業において、市が事業主体となり整備を行う交流促進施設の周辺の魅力向上のための附帯施設として、護岸施設を利用した（仮称）フィッシングパーク（以下、「フィッシングパーク」という。）計画の検討を行っている。このフィッシングパークの検討に当たっては、小田原市漁業協同組合をはじめ、地元漁業者との調整が重要であるが、昨年度実施した準備会において、一般客が釣りをを行う際のコマセの残餌などによる周辺海域の漁業環境の悪化が懸念され、さらには、蓄養水面への残餌の流入等も心配されるとの意見があった。 これら懸案事項の解消に向け、フィッシングパーク計画地周辺の流向、水温、水質、底質等の水域環境の調査及び水域環境への影響の検証など、専門的知見から水産技術センター相模湾試験場に指導をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	定置網漁業安定出荷試験（漁業活性化促進事業）		
対応の内容等	小田原漁港の蓄養水面の水域環境調査については、現在、「定置網漁業安定出荷試験」において実施しています。その中で、周辺の水域環境についても調査することとしています。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			